

こども食堂の輪が広がっています

問合先 子育て支援課

近年少子高齢化が急速に進み、核家族や共働き世帯が増加するなど、子どもを取り巻く社会の環境は大きく変化してきました。子どもの「孤食」や「欠食」が社会問題になる中、本市が平成28年8月に実施した「子どもの生活に関する実態調査」(*)においても、子どもと大人と一緒に朝食を食べる頻度が少ないことが明らかになりました。また、放課後をひとりで過ごしている子どもの数も全体の2割を超えており、子どもを孤立させない仕組みづくりが課題になっています。そのような状況のもと、市内において子どもの健やかな成長を支えようと、様々な地域のみなさんがこども食堂を運営されており、温かな交流が生まれてきています。

※こども食堂への食材提供を希望される場合（企業・団体含む）は問い合わせてください。

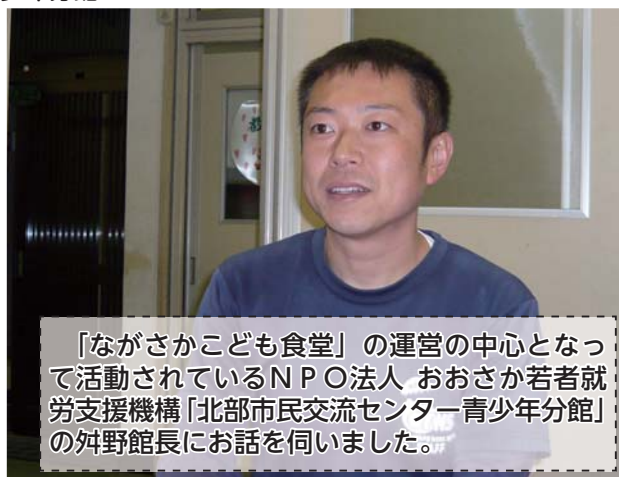
(*) …市立小・中学校に通う小学5年生と保護者および中学2年生と保護者を対象に、経済・生活・教育・健康などについてアンケート調査を実施。回答率（全体）73.7%、調査報告書は市ホームページ（子育て支援課）をご覧ください。



◀北部市民交流センター 青少年分館

で、内閣府が
かというこ
堂をできる
してこども
域資源を活
空き店舗と
ました。こ
き店舗があ
ランを閉め
した。その
おり、様々
と人権のま
A もともと
けを教え
Q こども食

Q こども食堂を始めたきっかけを教えてください。
A もともと鶴原地域は「福祉と人権のまちづくり」を進めており、様々な地域資源がありました。その中で数年前にレストランを閉め、使われていない空き店舗がありました。この



「ながさかこども食堂」の運営の中心となって活動されているNPO法人 おおさか若者就労支援機構「北部市民交流センター青少年分館」の舩野館長にお話を伺いました。

ながさかこども食堂

日時 毎月最終水曜日 午後6時～9時
※3・7・8・12月を除く
場所 北部市民交流センター 青少年分館
内容 食事提供、居場所、交流、遊び、相談
参加費 中学生以下100円、大人300円
※事前申込要
連絡先 NPO法人 おおさか若者就労支援機構
(☎464-8700)

域の様々な関係団体にご協力いただききました。調理については地域の解放同盟鶴原支部女性部の人が調理スタッフとしてご協力いた

進めている「こどもの未来応援国民運動」における日本財団「子どもの未来応援ネットワーク事業」の支援を受けて2016（平成28）年11月から始めました。Q おおさか若者就労支援機構のみなさんが中心になって取り組んでいます。開始するまでのようなことを検討・準備されましたか？

日時 毎月最終水曜日 午後6時～9時
※3・7・8・12月を除く
場所 北部市民交流センター 青少年分館
内容 食事提供、居場所、交流、遊び、相談
参加費 中学生以下100円、大人300円
※事前申込要
連絡先 NPO法人 おおさか若者就労支援機構
(☎464-8700)



うにして周知しましたか？
A 主には長坂小学校と第三中学校にお願いをして、チラシを児童生徒に配っていただきました。また、地域の民生委員の人にもお願いをして、民生委員の集まりでも配布していただきました。

Q 「ながさかこども食堂」という名前の由来（名前に込めた思いなど）を教えてください。
A 青少年会館を運営するなかで家庭環境の厳しい子どもたちを多く目の当たりにしましたので、そうした校区の子どもや保護者の支援を目的として「ながさかこども食堂」にしました。

Q 当初、こども食堂をどういったり、子どもたちと一緒に遊んだり勉強を教えたりするボランティアに、地元の第三中学校を卒業した高校生に担っていただきました。食材なども(株)泉州アグリさんから安く野菜を仕入れさせていただき、フードバンクOSAKAさんから食材の提供もしていただきました。

地域の女性部のみなさんやこちらの職員で調理をし、



Q 申込方法や料金は？
A 事前に北部市民交流センター青少年分館の窓口まで申し込んでいただきます。
料金は子ども100円、大人300円になります。
Q 何人ぐらいの子どもが参加していますか？
A 現在は30人定員になっていますが、毎回20人前後の子どもたちと保護者が参加しています。最近では継続して利用する子どもがほとんどです。
Q こども食堂での子どもの様子を聞かせてください。
A 食事の前に、宿題などをやる子もいますが、ほとんどがプレイルームなどで自由遊びをしています。おもちゃで遊んだり、トランプなどのカードゲームで遊んだりしています。高校生のボランティアのお兄ちゃんお姉ちゃんが一緒に遊んでくれる時もあります。食事は、



Q 申込方法や料金は？
A 事前に北部市民交流センター青少年分館の窓口まで申し込んでいただきます。
料金は子ども100円、大人300円になります。

みんなで仲良く夕飯を頂きます。食事が終わった後は、人数が少なければプレイルームでドッジボールをして遊んで保護者のお迎えを待ちます。

Q 苦労している点や逆にやりがいを感じたり、うれしく感じたりするのはどんな時ですか？
A 食事のメニューについては毎月悩みます。子どもから「おいしかった」「楽しかった」と言ってもらえた時、保護者から「助かります」と言ってもらえた時や一緒に時間を共有できた時です。

Q 今、泉佐野の中でこども食堂に取り組む人、あるいはこれからやってみようかなという人が増えてきました。こうした動きについてどのように思いますか？
A とてもいいことだと思えますね。いろんなそれぞれのノウハウを共有して子育て支援の輪を広げていければと思います。



【サロン・ド・松原】

日時 第1・3日曜日 午前10時～正午

場所 松原町会館（りんくう往来南2-1）

内容 食事提供、交流、相談

参加費 中学生以下10円

連絡先 松原町支部福祉委員会

（麻生川 ☎090-8203-4879）

一言 今後も地道に続けていきたいと思います。



【ぼん太（南州軒）】

日時 毎週土曜日 午前11時～午後3時

場所 鶴原1558-1

内容 食事提供、相談

参加費 中学生以下無料

連絡先 中野（☎090-4499-3252）

一言 子どもたちから元気をもらっています。



ほかのこども食堂

【うちカフェ（市委託子どもの居場所づくり事業）】

日時 毎週月・水・金曜日 午後3時～7時

場所 市場東2丁目326-7

内容 食事提供、交流、遊び、相談

※第3土曜日は農業体験

参加費 中学生以下無料

連絡先 NPO法人 サードプレイス

中村（☎090-6238-2345）

一言 子どもたちの参加をお待ちしております。

